

令和7年度第1回スポーツ推進審議会会議録（要旨）

- 1 日 時 令和7年7月23日（水） 午後7時～午後8時
- 2 開催場所 防災センター4階402・403会議室
- 3 出席委員 富永会長、笠井委員、岐津委員、佐竹委員、須貝委員、鈴木委員、矢野委員
欠席委員 島本副会長、小松委員、松葉委員
事務局 金築社会教育課長、荻野社会教育係長、荒木主事
- 4 議 題
 - (1) 諮問
 - (2) 狛江市スポーツ推進計画の計画期間について
 - (3) 第4期狛江市教育振興基本計画について
 - (4) 旧狛江第四小学校跡地整備基本計画について
 - (5) その他
- 5 提出資料
資料1 狛江市スポーツ推進審議会委員名簿
資料2 諮問書（写）
資料3 狛江市スポーツ推進計画
資料4 第4期狛江市教育振興基本計画
資料5 旧狛江第四小学校跡地整備基本計画
資料6 令和7年度狛江市前期基本計画の指標等に係る市民アンケート調査報告書（抜粋）
資料7 第3期スポーツ基本計画
資料8 東京都スポーツ推進総合計画
- 6 会議の公開について
 - ・周知をしたが傍聴希望者はなし。
 - ・会議録の作成については要点筆記とする。
→異議なし。
- 7 委嘱状伝達および会長・副会長の選出
 - (1) 委嘱状伝達
 - ・委員に委嘱状を机上配布。
 - (2) 会長・副会長の選出
 - ・委員自己紹介、事務局自己紹介を行った。
 - ・狛江市スポーツ推進審議会条例第5条の規定に基づき、委員の互選により会長及び副会長の選出を行った。
 - ・全員一致で、会長は富永委員、副会長は島本委員に決定した。
- 8 会議の結果
議題（1） 諮問
 - ・教育長から富永会長へ諮問書（狛江市スポーツ推進計画の改定について）が渡された。

議題（２） 狛江市スポーツ推進計画の計画期間について

事務局 狛江市スポーツ推進計画は、スポーツ基本法第 10 条第 1 項に基づく「その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画」であり、平成 28 年 3 月に国の「スポーツ基本計画」を参酌し、併せて、東京都スポーツ推進計画を参考とし、狛江市前期基本計画、第 3 期狛江市教育振興基本計画など市の計画の内容を踏まえて、令和 3 年 3 月に策定をしている。しかし、計画期間は令和 3 年から令和 7 年となっているため、改定が必要となり、令和 7 年 7 月 14 日に開催された狛江市教育委員会定例会にて承認されたため、狛江市スポーツ推進審議会条例第 2 条の規定に基づき、今回、教育委員会から狛江市スポーツ推進審議会へ改定について、諮問をさせて頂いた。事務局では計画期間の延伸を検討しているが、委員の皆様には資料 3、4 も参考にして頂きたい。

議題（３） 第 4 期狛江市教育振興基本計画について

事務局 第 4 期狛江市教育進行基本計画は、令和 7 年 3 月に第 3 期狛江市教育振興基本計画の改定時期を迎え、国の教育振興基本計画及び東京都教育ビジョンを参酌し、すべての市民の幸福・福祉に向けて、将来を見据えた長期的な視点を持ちながら、持続可能な教育行政を目指し、現状と課題を踏まえ、教育理念は教育目標の見直しを含め、策定されたものとなる。計画期間は令和 7 年から令和 11 年までの 5 か年となっており、スポーツにおいては、基本方針 4 「生涯を通じた学びの充実とスポーツの推進」において、「施策（３）スポーツを楽しむ環境の整備」「施策（４）豊かな生活のためのスポーツの推進」を掲げている。既存スポーツ施設の計画的な改修や、防災機能も備えた新スポーツ施設の整備の検討、市内団体・大学・スポーツチーム・民間事業者と連携したスポーツ大会やイベントの実施等を行っていく。

→質疑なし

議題（４） 旧狛江第四小学校跡地整備基本計画について

事務局 現在、年間使用できる屋内温水プールを望む声が多く寄せられており、旧狛江第四小学校跡地として西和泉体育館、西和泉グラウンドとして使用されている施設を改築し、新たな防災拠点も備えたスポーツ施設とするため、令和 6 年度に旧狛江第四小学校跡地整備基本計画策定委員会を立ち上げ、検討が行われた。「誰もが利用しやすい健康づくりの拠点となる地域の体育館」を基本コンセプトとして、市民へのアンケートや同規模体育館の事例等を参考に計画されたもので、体育館、会議室、多目的ルーム、事務室、学童スペース、高齢者支援機能、防災倉庫、温水プール、民間飲食又は物販施設等、グラウンドの機能を有することとしている。事業スケジュールとしては、令和 7・8 年度に基本設計、令和 9・10 年度に既存建物等の解体、実施設計、令和 11 年度から 13 年度にかけて建築工事、令和 13 年度に供用開始予定となっている。

委員 高齢の方が増えている中で、駐車場の利用台数を多く取っていただけたのはありがたい。

事務局 旧狛江第四小学校跡地整備基本計画というのが、まずは「イメージ」という段階であり、今後、基本設計や実施設計を行い、建築基準法に照らし合わせて考えた時に計画に変更が生じることがある。基本設計や実施設計が進むにあたって市民の皆さまには説明をすることとなっているため、その際に変更について説明をする。

委員 P37 ユニバーサルデザイン導入に当たり検討すべき事項はこれから検討していくということによろしいか。

事務局 今後、基本設計や実施設計にてユニバーサルデザインの導入を検討していく。

委員 車いす用シャワーの設置とあるが、車いすの方がプールに入ること等もできる施設を目標としているということか。

事務局 その通りである。

委員 皆様が気持ちよく利用できる施設を目指して欲しい。

事務局 今回、狛江市スポーツ推進計画については、一期（５年間）延伸をご審議頂きたい。要因としては、「旧狛江第四小学校跡地整備基本計画」が令和７年３月に策定されたことであり、令和１３年度供用開始にあたり、基本設計・実施設計で施設の全容が整った際に、利用方針の策定が必要になる。そのため以下を踏まえた上で検討をしていただきたい。

- ・今後市内のスポーツ施設として大きな役割を占める施設が、数年のうちに詳細が確定していくことから、現計画を延伸させ、施設の利用方針等を検討することに合わせてスポーツ推進計画の改定を行うべきではないか。

- ・今後の狛江市スポーツ推進計画には、旧狛江第四小学校跡地に整備されるスポーツ施設を活用したスポーツ活動について定義することが必要と考えているため、計画期間を延伸し、適切な時期に改めて計画改定の審議をするべきではないか。

- ・旧狛江第四小学校跡地整備基本計画のスケジュールが、埋蔵文化財発掘調査の結果等により、約１年程前後する可能性があるため、一期（５年間）の延伸を提案させていただき、スケジュールの進捗が早まる場合を見越して、「期中において必要が生じたときに改定作業を行う」こと。

- ・計画終了年度における目標について計画期間を延伸した際に、目標値に齟齬が出ないか。目標値は「令和６年度末までに市民のスポーツ実施率を７０％に引き上げる」としている。スポーツ実施率は、週１回以上、何らかの運動やスポーツをしている市民の割合をいい、令和２年１月に実施した市民アンケート調査のスポーツ実施率は６０．１％、令和７年４月に実施した市民アンケート調査のスポーツ実施率は、６７．４％となっており、「令和６年度末までに市民のスポーツ実施率を７０％に引き上げる」の目標値に若干到達していない状況である。しかし、第３期スポーツ基本計画においても、成人の週１回以上のスポーツ実施率が７０％になることを目標に、東京都スポーツ推進総合計画においても、２０３０年までの目標を７０％としている。以上のことから、狛江市スポーツ推進計画の計画期間を一期延伸とした場合において、「市民のスポーツ実施率を７０％に引き上げる」目標は引き続き継続しても支障はないものと考えている。

- ・「国・都のスポーツ計画との整合性」について、国においては、「第３期スポーツ基本計画」に地方自治体に期待される役割として「国民やスポーツ団体等のスポーツ活動を支援するため、第３期計画を参酌してできる限り速やかに地方スポーツ推進計画を改定・策定することが期待される」、「各地域が有するスポーツ資源等を踏まえ、課題解決等に「スポーツの力」がどのように寄与できるのかを検討し、各地域の実情に応じた計画を策定することが望ましい」と記載がある。東京都においては東京都スポーツ推進総合計画にeスポーツへの考え方・取組を示すほか、スポーツにおける健康の維持・増進として、東京都健康推進プランに結び付けた計画策定を行い、「子供とスポーツ」

「高齢者とスポーツ」「障害のある人とスポーツ」「女性とスポーツ」など、これまで狛江市スポーツ推進計画で取扱いのない部分にまで幅広く示されている。事務局としては、各テーマにおいて現状把握が出来ていないことから、引き続き本審議会でごテーマ

について検討を行い、現状のスポーツ推進計画への追記等を行わず、延伸後の次回狛江市スポーツ推進計画改定の際に計画に盛り込みたいと考えている。

事務局 以上を踏まえ、現在の狛江市スポーツ推進計画を一期延伸とし、令和12年度までの延伸について、ご審議をいただきたい。なお、旧第四小学校跡地の基本設計・実施設計に基づき、スポーツ推進計画に大きな変更が生じる場合は、その都度、計画の変更を行う予定である。

委員 西和泉体育館にもプールと体育館ができる予定だが、市民総合体育館にはない機能を備えるなど役割分担ができるようにして欲しい。

会長 事務局から狛江市スポーツ推進計画を一期延伸する旨の提案があったが、異議はあるか。

委員 異議なし。

会長 異議がないため、令和12年までの延伸ということで承認する。

会長 本日の議題は以上になるが連絡事項等はあるか。

事務局 次回の開催について、令和7年11月5日（水）19時からを予定している。今回の諮問に対する答申案を作成し、内容を審議いただきたい。

委員 計画にスポーツ実施率70%とあるが、残りの30%が「できない」のか「やらない」のか理由を知りたい。豊かなスポーツライフを考えた時に、小学生段階でスポーツを楽しみと思わないと将来的にスポーツから離れていってしまう場合が多い。実施をしていない30%には、自治体施策のほか、学校教育も影響しているのではないか。

委員 両親の仕事環境や経済格差なども大きく影響していると思う。学校という環境以外のコミュニティでどれだけスポーツに触れられるか等も影響しているのではないか。

事務局 狛江市スポーツ推進計画のアンケートの結果では「きっかけや機会がないから」42%、「仕事や家事育児が忙しくて時間がないから」40.9%、「スポーツや運動が好きでないから」18.2%が上位の理由である。

委員 事業の参加に対して、子どもの参加は前向きに検討してくれるが、「子どもを差し置いて自分が参加」ということに抵抗を持っている人が多い。最近は保育室を用意しての事業を行っても参加者が増えづらい傾向がある。見るスポーツやeスポーツなど、子どもがいても参加しやすいような事業を展開していくことが必要である。

委員 70%以上が目標であるが、国や都もそこがゴールではなく、誰もがスポーツに親しめる環境（100%）が最終目標である。そのため、計画期間を延伸したとしても必ず達成しなければならない。また、スポーツを行う場やきっかけづくりを行政や学校だけで提供するのは難しいため、総合型地域スポーツクラブなども重要となる。

会長 他に意見がないため本日は以上で閉会とする。